

北海道 ITS 推進フォーラム 会報



NO. 11

CONTENTS

P1～P2 【活動報告】寒地 ITS ワークショップ開催報告
P2 【事務局からのお知らせ】

活動報告：寒地 ITS ワークショップ開催報告

さる平成16年8月30日（月）北海道開発土木研究所におきまして、独立行政法人北海道開発土木研究所との共催により、寒地 ITS ワークショップを開催いたしました。当日は全道の道路管理者、コンサルタント等から、約100名の方にご参加いただきました。

～寒地 ITS ワークショッププログラム～

【基調講演】「北海道 ITS の今後の展望と期待」

山本 強 様

（北海道大学大学院情報科学研究科教授）

【話題提供】「セカンドステージの ITS の方向性について」

坂 憲浩 様

（北海道開発局建設部道路計画課道路調査専門官）

【第1セッション】

「地域で広がりを見せる ITS 【サービス面からの紹介】」

座長：品田 秀利 様（札幌市建設局管理部雪対策室）

・「光ファイバー網を活用した道路管理の高度化の現状と将来展望」

村中 俊治 様

（北海道開発局建設部道路維持課道路防災専門官）

・「札幌市営地下鉄における運休情報の提供について」

竹内 一裕 様

（札幌市企画調整局総合交通計画部交通企画課
利用促進担当係長）

・「しりべし i システムについて」

藤田 栄一郎 様

（北海道後志支庁経済部商工労働観光課

観光振興係長）

・「インターネット道路情報提供の現状と可能性」

山際 祐司 様

（北海道開発土木研究所道路部防災雪氷研究室
主任研究員）

【第2セッション】

「進展する ITS 技術とその活用【技術面からの紹介】」

座長：加治屋安彦（北海道開発土木研究所）

・「携帯情報提供サービスの積雪寒冷地での適用」

吉富 広三 様

（株式会社長大 ネットワーク事業プロジェクト
プロジェクトリーダー）

・「ASP による車両位置情報サービス」

高田 博 様

（沖電気工業株式会社システムソリューション
カンパニー）

・「安全運転のための技術活用例の紹介」

野田 竜也 様

（ソリトンコム株式会社）

※ 第2セッションの発表は、当フォーラムにて募集した
ものです。



（上写真）ワークショップの様相



（上写真）山本様による基調講演



（上写真）坂様による話題提供

以下に、ワークショップ発表の概要についてご紹介いたします。

基調講演では、国の IT 戦略における ITS の位置づけを導入として、IT 技術の進展、車と IT 技術の関係、GPS やデジタル地図などの関連技術動向などについて、紹介頂いた後、北海道と ITS について、移動手段の基本が自動車であることや厳しい気候、環境条件などの北海道の地域特性を活かした ITS について提言頂きました。

話題提供では、1999 年 6 月のスマートウェイ推進会議にて出された提言「スマートウェイの実現に向けて」の紹介から始まり、題目にある 2004 年 8 月の ITS セカンドステージについて、その 4 つのポイントをご紹介頂きました。これらを受け、北海道 ITS のセカンドステージに向けて、北海道の課題と対応させながら、現在導入している技術やサービス、今後の導入を検討している技術やサービスについて、ご紹介頂きました。

続く第 1 セッションでは、「地域で広がりを見せる ITS」と題し、行政・研究サイドから、サービス面での ITS 事例について紹介頂きました。

まず、北海道開発局の村中様より、道路管理用光ファイバーを含む情報基盤の現状についてご紹介頂き、北海道開発局で取り組んでいるアプリケーションの統一したシステムの整備や過去の災害事例を踏まえた自治体や関連機関を含む情報共有と情報基盤のご説明をいただきました。

次に、札幌市の竹内様から、地下鉄運休情報メール配信システム導入の背景について、利用者の利便性向上を図ることを目的にしたことをご説明頂きました。次いで、システムの概要について、システム構成や処理、サービスの内容など詳細にご紹介頂き、最後に、現在の問題や課題とこれに対する対応策などについてお話し頂きました。

続いて、北海道後志支庁の藤田様より、しりべしの挑戦として「しりべし i ネット」をご紹介頂きました。まず、しりべし地域の概要と観光における課題、今回のシステムの導入に至った経過などをご説明頂きました。次いで、地域のネットワーク作り、システムの構成や提供しているサービスとその利用状況や効果などについてお話し頂きました。

第 1 セッションの最後として、北海道開発土木研究所の山際様より、北の道ナビ、しりべし e 街道、RWML の活用と沿道情報提供の展開についてご紹介頂きました。北の道ナビは北海道の道路情報を総合的に案内するインターネットサイトとして開設され、多くに利用者に利用されていることや利用者のニーズに応じてコンテンツを充実していることなどをご紹介頂きました。しりべし e 街道では、官民連携による道路情報収集提供実験の内容について実験時のサービス内容を含めご紹介頂き、これらを支えるインターネット技術の一つとしての RWML についてもご説明頂きました。

途中休憩をはさみ、再開後の第 2 セッションでは「進展する ITS 技術とその活用」として、当フォーラムを通じて募集した民間企業の方より技術面の紹介をいただきました。

まず、株式会社長大の吉富様より、携帯電話での道路情報提供サービスの内容と積雪寒冷地での適用についてご紹介頂きました。携帯電話サービスでは日本全国の道路情報が入手できるようになっていることや携帯電話での利便性向上や新たなサービスを行っており、現状としては、関東甲信越を中心とした都市部での利用が多いことなどをご紹介頂きました。

次に、沖電気の高田様より、ASP を利用した車両情報位置サービスについてご説明頂きました。現在実施しているサ

ービスを例に、サービスの仕様や機能をご説明頂いた後、道路管理をはじめとして、民間分野での物流や幼稚園バスの送迎などの様々な分野でのサービスの利用例についてご紹介頂きました。

最後に、ソリトンコム株式会社の野田様より、交通事故の予防を目指した安全運転のための技術活用例についてご紹介頂きました。まず、交通事故の現状や経済的損失の説明に続いて、交通事故を減らすための方策、このための技術として運転挙動をモニタリングするシステムをご説明頂き、物流分野での導入事例や交通データ収集の研究事例などをご紹介頂きました。

(以上報告、事務局 金村)

寒地 ITS ワークショップの開催結果

http://www2.ceri.go.jp/mt_test/archives/000137.html



(上写真) ワークショップの様相

事務局よりお知らせ

- フォーラムでは、各種連絡・お知らせ、特別会員の国・地方自治体の方からの事業や公募のご案内等をホームページや電子メールでお伝えしております。電子メールアドレスをお持ちの方で、まだ登録がお済みで無い方は、この機会にぜひメールアドレスをお知らせください。info@hokkaido-its.jp または 011-232-0048(FAX)で受付しております。ご連絡の際は、会員名と電子メールアドレスを忘れずをお願いいたします。
- 連絡先が変更になった場合は変更申込書(ホームページからダウンロードできます)をご利用の上、郵送または FAX で事務局まで送付願います。
- 年会費納入のお願い
年会費の納入をお願いいたします。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。
(振込先) 北洋銀行札幌市役所支店 (普)3169840
北海道 ITS 推進フォーラム
- 会報第 12 号は平成 17 年 3 月発行予定です。

編集・発行/北海道 ITS 推進フォーラム(Hokkaido ITS Forum)

<http://www.hokkaido-its.jp/>

事務局/〒060-0001

札幌市中央区北 1 条西 3 丁目 MN ビル 10 階 札幌総合情報センター(株)内

●TEL 011(232)4848 ●FAX 011(232)0048

●E-mail info@hokkaido-its.jp

事務局長:蓮井 七男、事務局員:金村 直俊、安藤 浩司